

令和2年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号		担当課等	温泉課						
事務事業名	源泉設備事業								
予算科目コード	会計	款	01	項	01	目	03	事業開始年度	平成 11 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P38 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	2 温泉	(1) 温泉資源の適正管理	① 町営温泉集中管理の推進・効率的な企業経営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	老朽化した源泉施設の維持管理を計画的に行い、安定供給に努めるもの。								
対象	町温泉事業								
内容	源泉の改修 老朽化したコンプレッサーの更新								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	14,612,400	11,572,000	11,050,000	
コスト 人件費	常勤職員	180,936	149,654		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	180,936	149,654		
総事業費	14,793,336	11,721,654	11,197,415		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	14,793,336	11,721,654	11,197,415	
財源合計	14,793,336	11,721,654	11,197,415		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町所有源泉から揚湯するためには、源泉設備の維持管理及び更新が必要不可欠である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 老朽化した源泉施設を定期的・計画的に更新することにより、漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 町温泉施設から配湯を受けることは、受益機会均等である。

令和元年度までの自己評価または改善点	老朽化した源泉施設から順次、定期的・計画的に更新してきた。
--------------------	-------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	温泉事業の全体又は施設の維持管理等の部分的な業務について第三者委託は可能ではあるが、費用等を含め検討する必要があり導入には至っていない。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	老朽化した源泉施設から順次、定期的・計画的に更新する。	
令和3年度以降の方向性	老朽化した源泉施設の維持管理を定期的・計画的に行い、安定供給に努める。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	老朽化した源泉施設の維持管理を定期的・計画的に行い、安定供給に努めること。
------	----------	---------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

計画的な維持管理に努めていただきたい。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号		担当課等	温泉課						
事務事業名	流入設備事業								
予算科目コード	会計	款	01	項	01	目	03	事業開始年度	平成 11 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P38 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	2 温泉	(1) 温泉資源の適正管理	① 町営温泉集中管理の推進・効率的な企業経営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	老朽化した流入施設の改修を行い、漏湯事故を未然に防ぐとともに安定供給に努めるもの。								
対象	町温泉事業								
内容	集湯ポンプ所ポンプの改修								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	4,524,444	2,200,000	1,650,000	
コスト 人件費	常勤職員	180,936	149,654		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	180,936	149,654		
総事業費	4,705,380	2,349,654	1,797,415		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	4,705,380	2,349,654	1,797,415	
財源合計	4,705,380	2,349,654	1,797,415		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方		平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 温泉を町管理の本管へ流入するためには、流入設備の維持管理及び更新は必要不可欠である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 老朽化した温泉施設を定期的・計画的に更新することにより、漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 町温泉施設から配湯を受けることは、受益機会均等である。
令和元年度までの自己評価または改善点	老朽化した流入施設から順次、定期的・計画的に更新した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	温泉事業の全体又は施設の維持管理等の部分的な業務について第三者委託は可能ではあるが、費用等を含め検討する必要があり導入には至っていない。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	老朽化した流入施設から順次、定期的・計画的に更新する。	
令和3年度以降の方向性	老朽化した流入施設の維持管理を定期的・計画的に行い、安定供給に努める。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	老朽化した流入施設の維持管理を定期的・計画的に行い、安定供給に努めること。
------	----------	---------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

計画的な維持管理に努めていただきたい。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号		担当課等	温泉課					
事務事業名	送湯及び給湯設備事業							
予算科目コード	会計		款 01	項 01	目 03	事業開始年度	平成 11 年度	

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P38 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	2 温泉	(1) 温泉資源の適正管理	① 町営温泉集中管理の推進・効率的な企業経営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	老朽化した送湯及び給湯設備を計画的に改修するもの。								
対象	町温泉事業								
内容	配湯管の改修 送湯ポンプの改修 貯湯槽の改修								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	11,393,244	8,055,000	13,770,000	
コスト 人件費	常勤職員	482,496	448,964	471,728	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	482,496	448,964	471,728	
総事業費	11,875,740	8,503,964	14,241,728		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	11,875,740	8,503,964	14,241,728	
財源合計	11,875,740	8,503,964	14,241,728		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 温泉を、送配湯管を經由し配湯先まで配湯するためには、送配湯管の維持管理及び更新は必要不可欠である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 老朽化した温泉施設を定期的・計画的に更新することにより、漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 町温泉施設から配湯を受けることは、受益機会均等である。

令和元年度までの自己評価または改善点	老朽化した送配湯施設から順次、定期的・計画的に更新した。
--------------------	------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	温泉事業の全体又は施設の維持管理等の部分的な業務について第三者委託は可能ではあるが、費用等を含め検討する必要があり導入には至っていない。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	老朽化した送配湯施設から順次、定期的・計画的に更新する。	
令和3年度以降の方向性	老朽化した送配湯施設の維持管理を定期的・計画的に行い、安定供給に努める。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	老朽化した送配湯施設の維持管理を定期的・計画的に行い、安定供給に努めること。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

計画的な維持管理に努めていただきたい。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号		担当課等	温泉課						
事務事業名	固定資産購入事業								
予算科目コード	会計	款	01	項	01	目	03	事業開始年度	平成 11 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
P38 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	2 温泉	(1) 温泉資源の適正管理	① 町営温泉集中管理の推進・効率的な企業経営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	源泉用地等及び機械等の固定資産の購入								
対象	町温泉事業								
内容	源泉用地等施設の購入 機械及び備品ほか購入								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	16,315,962	4,220,030	34,230,000	
コスト 人件費	常勤職員	180,936	149,654	294,830	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	180,936	149,654	294,830	
総事業費	16,496,898	4,369,684	34,524,830		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	16,496,898	4,369,684	34,524,830	
財源合計	16,496,898	4,369,684	34,524,830		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 温泉を配湯先まで配湯するためには、施設の固定資産の維持管理及び更新は必要不可欠である。また、源泉用地等施設の購入により、経営効率を高め、温泉資源保護を進めることができる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 源泉用地等施設の取得や温泉施設の固定資産を定期的・計画的に更新することにより、漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 町温泉施設から配湯を受けることは、受益機会均等である。

令和元年度までの自己評価または改善点	老朽化した固定資産から順次、定期的・計画的に更新した。また、源泉用地の購入に関して検討を行った。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	1 温泉事業の全体又は施設の維持管理等の部分的な業務について、第三者委託は可能ではあるが、費用等を含め検討する必要があり導入には至っていない。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	老朽化した固定資産から順次、定期的・計画的に更新する。 源泉用地等施設の購入を行う。
令和3年度以降の方向性	老朽化した固定資産の維持管理を定期的・計画的に行い、安定供給に努める。 経営効率を高め、温泉資源保護を進めることが可能な源泉用地等施設を購入する。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	老朽化した固定資産を定期的・計画的に購入し、安定供給に努めること。
------	----------	-----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号				担当課等	温泉課					
事務事業名	経営戦略策定事業									
予算科目コード	会計		款	01	項	01	目	03	事業開始年度	平成 30 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P38 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	2 温泉	(1) 温泉資源の適正管理	① 町営温泉集中管理の推進・効率的な企業経営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
								○	
目的	公営企業が健全で安定したサービスを提供し続けるために、老朽化対策などに備えて施設の現状を把握し、中長期的に必要な投資の試算、財源の試算から、収支にギャップが発生するような場合は、課題対処、健全経営に向けた取り組みを考えるための経営戦略を策定するもの。								
対象	温泉事業								
内容	施設の長寿命化、統廃合、過剰・重複投資の見直し、維持管理の合理化・効率化、民間活用を通じた新技術の導入、サービス内容の向上などを策定内容に盛り込み、将来に向けた経営の方向性の検討材料とするもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)	
コスト	事業費	5,600,000	6,172,000		
	人件費				
	常勤職員	301,560	185,586		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	301,560	185,586		0
	総事業費	5,901,560	6,357,586		0
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	5,901,560	6,357,586		0
	財源合計	5,901,560	6,357,586		0
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 総務省より令和2年度までに策定することとなっている。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 今後の経営方針を定めるものであり、健全な公営企業運営に必要なものである。類似する計画策定は無い。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 策定された経営戦略は、今後の経営方向を定める指針となっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 安定した公営企業運営は、安定した温泉供給につながり、温泉利用者の利益となり、町全体の発展につながる。
令和元年度までの自己評価または改善点	策定完了	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	経営戦略の策定については、総務省が令和2年度までに策定を要請しており、施設の見直しを含め投資試算、財源試算の将来予測、財源確保の方策など、総合的な戦略プランを策定する必要があるため、コンサルに委託。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	策定完了	
令和3年度以降の方向性	策定完了	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	令和元年度策定完了
------	----	-----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	
------	--